

# 自動野菜収穫ロボットとRaaSモデルによる次世代農業パートナーシップ



## 概要

- 人間が収穫して良いかを一つ一つ判断して収穫を行う選択収穫野菜を対象とした自動野菜収穫ロボットを開発。
- 現在はアスパラガスの収穫が可能で、今後トマトやいちご、きゅうり、ピーマン、ナスなどに対応予定。
- ロボットを無償でレンタルし、収穫した量に応じて利用料をお支払いいただくビジネスモデル「RaaS」は、初期費用やメンテナンス費用が掛からないことが特徴。
- 最新技術やパーツをロボットに取り入れることで、性能が継続的に向上。
- ロボット間のネットワークを構築することで、様々なデータを収集し、農家へ生産性向上のアドバイスも実施。
- 2019年にきゅうり・アスパラガスの一大産地である佐賀県鹿島市に拠点を開設し、2022年までに九州地区へ24拠点、全国40拠点を開設予定。

## 導入効果

- 導入することで、収穫作業の負担が大きく軽減し、栽培面積の拡大が可能。
- RaaSモデルにより、経営改善に貢献。
- 取得したデータを分析して、生産と経営の両面からサポート。

## ○対象品目

水稲	畑作	露地野菜	施設園芸	果樹	茶	花き
酪農	肉用牛	養豚	養鶏	飼料作物		
沿岸漁業	養殖業	沖・遠洋漁業	その他水産業	林業		その他

## ○該当するニーズ

項目	収穫・調製・加工
技術ニーズ	農業機械
具体的なニーズの内容	収穫や運搬を行うことができるロボット

開発/実証中	
モニター販売中	
一般販売中	○
その他	



自動野菜収穫ロボット



RaaS (Robot as a Service)

## 📍連絡先

inaho株式会社  
 TEL:0467-37-5279  
<https://inaho.co/>  
[info@inaho.co](mailto:info@inaho.co)  
<https://www.facebook.com/inaho.inc/>  
[https://twitter.com/inaho\\_official](https://twitter.com/inaho_official)

情報記載日:2019年10月00日